平成23年5月

学校教育目標　○学び続ける子　○思いやりのある子　○元気に運動する子

瑞木小だより

在籍児童数 291 名
1 年 50 名　2 年 41 名
3 年 60 名　4 年 38 名
5 年 62 名　6 年 40 名

生活目標●使ったものをきちんとかたづけよう　保健目標●ハンカチ・ちり紙を身につけよう

「家読（うちどく）のすすめ」

校　長　郡司　實

青葉若葉がまぶしい季節となり、校庭の桜やハナミズキも日増しに緑が濃くなってきました。

さて、先月、ＰＴＡ総会が開かれ、３年間ＰＴＡの中心となって活躍いただいた相澤会長さんが退任されました。これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。そして新たに堤奈美会長を初めとする新役員さんが承認され新体制のもと新たな船出となりました。１年間どうぞよろしくお願いします。

現在、三郷市及び市内小・中学校における重点指導事項の一つに「読書活動」があります。この読書活動の中に「家読（うちどく）」というものがあります。これは、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味しています。家族で本を読んでコミュニケーションを図り、「家族の絆づくり」を目的として設けられたものです。

本校では、以前から「家庭読書の日」に「親子読書感想文」を募集してきました。昨年度のものになりますが、保護者の感想を紹介します。（学年は昨年度の学年です）

○「王さまロボット」・・・今回あえて子どもと同じ本を読み、感想について意見を交換しました。いつもとは一味違った親子の会話ができ楽しい一時でした。日々なかなかこのような機会を持てず家庭読書の日が、根付き発展してくれると嬉しいです。（５年保護者）

○「黒魔女さんが通る…チョコ、デビューするの巻」・・・題名からするときっと黒魔女が人間界で悪いことをするお話かと思って読み始めた。ところがその反対。チョコとともに生徒をいじめる先生を正し、修行なしで魔女になろうとしている人をこらしめたりと、とても正義感のある黒魔女なのである。とてもおもしろく、夢中になって読んだ。シリーズものなので、次はどのような展開なのか楽しみである。（４年保護者）

○「ごんぎつね」・・・初めて子どもに読み聞かせたとき、読み終わったと同時にウワーッと大泣きされてしまいました。そのくらい切なくて悲しいお話です。「ごん」のちょっとしたいたずらが兵十を傷つけ、でも「ごん」は一生償いをします。そのけなげな姿に胸を打たれました。結果は悲しいものですが、最後に想いが伝わりわかりあえたのがせめての救いかなと思います。（２年保護者）

このほかにも「家庭読書の日」における感想文をたくさんいただきました。「家読（うちどく）」は家族のあり方を問いただすものです。「家読（うちどく）」のやり方は、家族で本を読んでお話をすることです。これといった決まりはありません。同じ時間、同じ空間を家族で共有し、読んだ本についてお話しいただければきっと楽しい時間となることでしょう。そして、より一層家族の絆が強く結ばれると思います。ぜひ、家読（うちどく）について、家族で進めてみませんか。